

この見直し調書を参考に意見・提案等をお願いしたいと思います。

総合計画（後期基本計画）策定に係る施策見直し調書

政策7 地域が輝くまちの創生

施策1 人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ ～佐伯地域～

※政策名及び施策名は変更しません。

「現状と課題、これからの基本方針、主な取組、重点プロジェクト」について記入してください。

1. 現状と課題

前期基本計画	現状を踏まえた時点修正しています。	後期計画（案）	備考
<p>佐伯地域は、「街」「里」「浦」という3つの特徴を併せ持つ地域です。「街」（佐伯・鶴岡・佐伯東・渡町台地区）は、古くは城下町として、近代は造船業を中心とした産業地区として商工業が発展してきましたが、近年の大規模商業施設の立地などにより、商店や小売店が減少し、市街地の人通りもまばらとなっています。また、山・川などの自然が豊かで暮らしやすい「里」（上堅田・下堅田・木立・青山地区）、釣り人も多く訪れる豊かな海を抱く「浦」（大入島・八幡・西上浦地区）においては、良好な住環境である一方、人口減少などにより小学校が統廃合・休校となる地区もみられ、農林水産業の担い手不足などが問題となっています。今後は産業と結びつけながら、地域の魅力を磨き上げ、活力を高めていくことが必要です。</p> <p>こうした人口減少に加え、価値観やライフスタイルの多様化により、いずれの地区においても地域コミュニティが希薄になっています。これにより地域行事の開催や伝統文化の継承が困難になってきており、防犯上の問題も懸念されています。誰もが安心して生活でき、このまちへの愛着を育むためには、地域コミュニティを強化し、魅力ある地域づくりを行う必要があります。そのためには、地域を支える新たな人材の発掘・育成や、積極的な情報発信により、移住・定住を促進することも重要です。</p>	<p>時点修正</p>	<p>佐伯地域は、「街」「里」「浦」の3つの地域を併せ持つ地域で、それぞれが地域の特色を活かし、地域の魅力を磨き上げ、活力を高めるための活動を支援してきました。近年はコロナ禍におけるイベントの中止や活動の自粛等により地域には様々な影響が出てきています。そんな中、「街」エリアでは、さいき城山桜ホールの完成を機に、市街地の賑わいを取り戻しつつあります。「里」エリアでは、地域の産品を活用した商品の開発や空き家を活用したオーガニックレストランがオープンし新しい拠点づくり等を支援し、「浦」エリアにおいても、地域資源を活用した取組、特に大入島オルレコースを活用した地域づくり等、それぞれの地域が取組みその活動を支援してきました。</p> <p>このような状況において、引き続き、地域の特性を活かし、地域の魅力を磨き上げ、活力を高めていくことが必要です。また、人口減少や高齢化が進むことで、地域行事の開催や伝統文化の継承が困難になり、防犯上の問題が懸念されます。この地域への愛着を育み、誰もが安心して暮らすためには、地域コミュニティの強化と地域を支える新たな人材の発掘・育成が必要です。さらに、積極的な情報発信により、移住・定住を促進することも重要です。</p>	

既存（前期基本計画）の「これからの基本方針」をもとに「継続、修正、廃止、追加」を検討し、後期基本計画（案）を記入しています。

2. これからの基本方針 また、「修正、廃止、追加」については、その理由を記入しています。

前期基本計画	継続／修正／廃止／追加	後期計画（案）	理由（修正・廃止・追加を選択した場合）
<p>ア 佐伯のシンボルである城山の活用、城下町観光交流館などにおける情報発信、大手前の整備により、行き交う人の拠点をづくりします。あわせて歴史と文学のみち、駅、港への周遊ルートなどを作成しながら、各所に人的交流、観光の中継点をつくりします。</p>	<p>修正</p>	<p>ア 佐伯のシンボルである城山の活用、城下町観光交流館などにおける情報発信、さいき城山桜ホールを中心に人の流れを活発にし、歴史と文学のみち、駅、港等の周遊ルートを活用するなどして、人が集う街、人々が交流しあう街づくりを進めることで、街の魅力をさらに高めます。また、駅前・港周辺は佐伯市市街地ランドデザインに基づき、賑わいを創出する拠点整備や景観整備に加え、これまで行ってきたイベントを継続することで交流人口、観光客の増加を促進します。</p>	<p>「街」（佐伯・鶴岡・佐伯東・渡町台地区）エリアの基本方針として整理しました。</p>
<p>イ 豊かな自然、米などの農産物や水産資源など、自然の恵みをいかした地域づくりに取り組むことで、地域の魅力を高めます。また、1次産業の体験プログラムなどを通じて、地元産業の継承にも取り組んでいきます。</p>	<p>修正</p>	<p>イ 豊かな自然、農林水産資源など、自然の恵みをいかした地域づくりに取り組むことで、地域の魅力を高めます。また、空き家の活用、未利用地等を整備することで地域の拠点としての利用を図ります。</p>	<p>「里」（上堅田・下堅田・木立・青山地区）エリア、「浦」（大入島・八幡・西上浦地区）エリアの基本方針として整理しました。未利用地等は、市所有の土地等。</p>
<p>ウ 東九州自動車道が開通し、佐伯ICに加えて佐伯堅田ICも開設されており、市外から絶好のアクセスが実現しています。今後は、イベントの開催や各地の個性をいかした取組を充実させ、通過されないような魅力を創出することが必要です。</p>	<p>廃止</p>		<p>既に、市への重要なアクセスルートとして確立し、イベントの開催や各地の個性を活かした取組も充実しつつあるため。</p>
<p>エ 恵まれた自然環境や、静かで住みやすいことから、市外からの移住者も増え始めています。学校や自治会の連携、多くの世代が参画できる地域活動など、バランスのとれた地域コミュニティの形成を図り、暮らしやすさを支援します。</p>	<p>継続</p>	<p>エ 恵まれた自然環境や、静かで住みやすいことから、市外からの移住者も増え始めています。学校や地区の連携、多くの世代が参画できる地域活動など、バランスのとれた地域コミュニティの形成を図り、暮らしやすさを支援します。</p>	

既存（前期基本計画）の「主な取組み」をもとに「継続、修正、廃止、追加」を検討し、後期基本計画（案）を記入しています。

また、「修正、廃止、追加」については、その理由を記入しています。

3. 主な取組 「これからの基本方針」を進めるための「主な取組」であることを意識して作成しています。

前期基本計画	継続／修正／ 廃止／追加	後期計画（案）	理由（修正・廃止・追加を選択した場合）
ア 新たなまちの姿を描く「街」エリアの形成	継続		
（ア）人が行き交う拠点としての大手前の整備活用、および城山の利活用	修正	（ア）「人の流れ」をつくる、さいき城山桜ホールや城下町観光交流館等との連携と城山の利活用	各施設の活用と連携したイベント等を実施する。
（イ）自転車や徒歩などそれぞれのスタイルに合わせた観光周遊ルートの作成	修正	（イ）自転車や徒歩などそれぞれのスタイルに合わせた観光周遊ルートの活用	観光周遊ルートを活用する。
（ウ）空き家や空き店舗活用への取組を推進	継続	（ウ）空き家や空き店舗活用への取組を推進	
	追加	（エ）葛港市場賑わい拠点施設（仮称）及び周辺の道路、公園、景観の整備	ランドデザインの重点事業を追加しました。
	追加	（オ）葛港市場賑わい拠点施設（仮称）を中心として人が集うイベントの実施	「街」エリアの取組として整理しました。 （主な取組み イ（イ））
イ 地域資源をいかし次世代につなげる「里・浦」エリアの形成	継続		
（ア）地域の産品を活用した地域づくりの推進及び拠点の整備	継続	（ア）地域の産品を活用した地域づくりの推進及び拠点の整備	
（イ）港地域との連携で水産物をPR、地域を活性化する取組の推進	廃止		主な取組 アに追加
（ウ）元越山、彦岳を活用した地域づくりの推進	継続	（イ）元越山、彦岳を活用した地域づくりの推進	
（エ）大入島オルレを活用した地域づくりの推進	修正	（ウ）大入島オルレを活用した地域づくりの推進と拠点整備	堀切地区の食彩館周辺の整備に着手します。
ウ 東九州自動車道開通を生かして進める地域づくり	廃止		既に、佐伯市への重要なアクセスルートとして確立している。
（ア）総合運動公園を活用した各種スポーツイベントの開催	廃止		総合運動公園を活用した各種スポーツイベントを開催し定着しているため。
（イ）市内各地に魅力を創出し、佐伯IC、佐伯堅田ICから市内周遊につなげる取組	廃止		主な取組ア、イと重複するため。
エ 人が集い、安心して楽しく暮らせるためのコミュニティづくり	継続		
（ア）地域づくりに携わる人材の育成や組織の設立を推進	継続	（ア）地域づくりに携わる人材の育成や組織の設立を推進	
（イ）団体同士が連携した地域づくりの推進	継続	（イ）団体同士が連携した地域づくりの推進	
（ウ）移住、定住の促進	継続	（ウ）移住、定住の促進	
（エ）公民館を活用した地域活動に支援	修正	（エ）公民館・コミュニティセンターを活用した地域活動に支援	コミュニティセンターを追加
（オ）伝統文化の保存、継承に支援	継続	（オ）伝統文化の保存、継承に支援	

4. 重点プロジェクト 既存（前期基本計画）「重点プロジェクト」をもとに「継続、修正、廃止、追加」を検討し、「継続」については、後期基本計画（案）を記入しています。

前期基本計画	継続／修正／ 廃止／追加	後期計画（案）	理由（修正・廃止・追加を選択した場合）
げんき、ひろがる！佐伯プロジェクト	継続	げんき、ひろがる！佐伯プロジェクト	
<p>大手前開発が進み、佐伯地域の中心部に新たな人の流れ、生活やにぎわいの拠点が生まれることが期待できます。佐伯地域「街」エリアの地域づくりはそれらと直結しています（『基本計画』「自然・生活環境」「生活基盤」「教育文化」「まちづくり」等参照）。産業、商業や医療・福祉、学校や学びの場といった都市機能の強化に加えて、まちの魅力を倍増させ、その効果を市街地から周辺エリアへと波及させることが重要となります。そのためには「人」が何より大切であり、人が集い協力、協働し力を高めていくことにより地域の資源を磨き、多様で魅力的な地域づくりが可能となります。周辺部においては各地の資源をいかした製品の生産やブランド化・販売拠点を整備し、そこに暮らす人々が生き生きと活躍する地域づくりを行います。また、これらを推進する役割を担う協議会など地域づくり組織の育成にも支援し、元気で特色あるコミュニティを維持するための活動を推進していきます。</p>	継続	<p>さいき城山桜ホールとその周辺整備が進み、佐伯地域の中心部に新たな人の流れ、生活やにぎわいの拠点が生まれました。</p> <p>佐伯地域「街」エリアの地域づくりは産業、商業や医療・福祉、学校や学びの場といった都市機能の強化に加えて、地域の魅力を倍増させ、その効果を市街地から「里」「浦」周辺エリアへと波及させることが重要です。</p> <p>そのためには「人」が何より大切であり、人が集い協力、協働し力を高めていくことにより地域の資源を磨き、多様で魅力ある地域づくりが可能となります。</p> <p>周辺部においては各地の資源をいかした製品の生産やブランド化等に取り組み、その拠点を整備し、そこに暮らす人々が生き生きと活躍する地域づくりを行います。また、これらを推進する役割を担うための新たなコミュニティ組織づくりを支援し、元気で特色ある地域を維持するための活動を推進していきます。</p>	